

S-Stage ボアアップキット 125cc スカット 取扱説明書

製品番号 01-05-5306

適応車種及び フレーム番号	Ape100 (HC07-1000001 ~) XR100 Motard (HD13-1000001 ~) CRF100F (HE03-2400001 ~) XR100R (HE03-1200001 ~)
------------------	---

この度は、弊社製品をお買い上げ頂きまして有り難うございます。

使用の際には下記事項を遵守頂きますようお願い致します。取り付け前には、必ずキット内容をお確かめ下さい。

万一お気付きの点がございましたら、お買い上げ頂いた販売店にご相談下さい。

◎イラスト、写真などの記載内容が本パーツと異なる場合がありますので、予めご了承下さい。

☆ご使用前に必ずお読み下さい☆

使用燃料についてのご注意

当製品はノーマルに比べ、高圧縮比となるよう設定しております。燃料は必ずハイオクタン価ガソリンをご使用下さい。レギュラーガソリンを使用した場合、異常燃焼を起こし、本来の性能を発揮しない上にピストンが壊れて重大な故障を起こす可能性があります。製品取り付け前にフューエルタンクに残っていたガソリンにもご注意ください。レギュラーガソリンが残っている場合は必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

スパークプラグについてのご注意

スパークプラグは必ず、CR8HSA(NGK)又は、U24FSR-U(DENSO)に交換して下さい。その後、スパークプラグ電極部の焼け具合により番数を決定して下さい。

◎取扱説明書に書かれている指示を無視した使用により事故や損害が発生した場合、弊社は賠償の責を一切負いかねます。

◎当製品を取り付け使用し、当製品以外の部品に不具合が発生しても当製品以外の部品の保証は、どのような事柄でも一切負いかねます。

◎製品を加工等された場合は、保証の対象にはなりません。

◎他社製品との組み合わせのお問い合わせはご遠慮下さい。

◎当製品は、上記適応車種、フレーム番号の車両専用部品です。他の車両には取り付け出来ませんのでご注意ください。

◎当製品の取り付けには、エンジン脱着等の作業が必要になります。上記適応車種にあった純正サービスマニュアルを参照し、確実に作業を行うことをお勧めします。

◎この取扱説明書は、基本的な技術や知識を持った方を対象に作成しております。

取り付けに自信の無い方や、取り付けに必要な工具等をお持ちで無い場合は取り付け作業は行わずに、指定工場、又は認証工場などの車両整備が可能な業者へ取り付けをご依頼下さい。

◎Ape100及びXR100 Motardは、当製品単体では性能を発揮しません。別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。

PD22キャブレターキット:03-05-0121(フィルター付き)、03-05-0120(フィルター無し)

◎さらなるパワーアップには、弊社製マフラーの装着をお勧めします。

◎ボルト、ナット、ノックピン、パッキンの一部は再使用しますが、摩耗や損傷が激しいものは再使用せず、必ず新品のものをご使用下さい。

◎液体パッキン等は絶対に使用しないで下さい。オイル通路をふさぐ等の可能性があり、最悪の場合はエンジンを壊してしまう恐れがあります。

◎当製品を取り付ける際には、別途、L. クランクケースカバーガスケット(ホンダ品番:11394-KN4-750)が必要です。別途お買い求め下さい。

◎当製品を取り付ける際、クランクケースにオイルジェット加工されている物との併用は可能ですが、新たにクランクケースにオイルジェット加工する必要はありません。

～特徴～

○シリンダーには、セラミックコンポジットメッキを施し、従来の鋳鉄製スリーブより、耐久性/耐磨耗性を向上させピストンクリアランスを少なくし、フリクションロスを低減させました。

○ピストンにはモリブデンコーティングを施し馴染性をアップさせています。

○冷却フィンを大きくすることによりシリンダー温度の上昇を抑える事が出来ます。

ビッグフィンシリンダーはノーマルシリンダーと形状が異なる為、装着時のエンジン形状に変化がみられ、車両のカスタムイメージを高めます。

○エンジンのピストン冷却方法は、クランクケースからのオイル噴射により行うのが一般的です。

それに対しオイルジェットシリンダーはクランクケースの交換や、クランクケースを分解しオイル噴射穴加工又は、オイル噴射の為の部品を追加する事無く、シリンダーの交換のみでシリンダーやピストンなどにオイルを噴射する事が出来ます。

オイルジェットシリンダーの特徴は、シリンダー内面に直接オイル噴射穴を設ける事で、よりピストンに近い位置(最短距離)でオイルを噴射する事が出来ます。

○弊社製 M5 温度センサーの取り付けが可能です。

注意 この表示を無視した取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

■一般公道では、法定速度を守り違法運転を心掛けて下さい。

(法定速度を超える速度で走行した場合、運転者は道路交通法、速度超過違反で罰せられます。)

■作業等を行う際は、必ず冷間時(エンジンおよびマフラーが冷えている時)に行ってください。(火傷の原因となります。)

■作業を行う際は、その作業に適した工具を用意して行って下さい。(部品の破損、ケガの原因となります。)

■規定トルクは、必ずトルクレンチを使用し、確実に作業を行ってください。(ボルトおよびナットの破損、脱落の原因となります。)

■製品およびフレームには、エッジや突起がある場合があります。作業時は、手を保護して作業を行ってください。(ケガの原因となります。)

■走行前は、必ず各部を点検し、ネジ部等の緩みが無いかを確認し緩みが有れば規定トルクで確実に増し締めを行ってください。

(部品の脱落の原因となります。)

■ガスケット、パッキン類はよく点検し、摩耗や損傷がある場合は必ず新品部品と交換して下さい。

警告 この表示を無視した取り扱いをすると人が死亡、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

■エンジンを始動させての点検は、必ず換気の良い場所で行ってください。密閉した様な場所では、エンジンを始動させないで下さい。

(一酸化炭素中毒になる恐れがあります。)

■走行中、異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停止させ、走行を中止して下さい。(事故につながる恐れがあります。)

■作業を行う際は、水平な場所で車両を確実に安定させ、安全に作業を行ってください。(作業中に車両が倒れてケガをする恐れがあります。)

■点検、整備は、取扱説明書又は、サービスマニュアル等の点検方法、要領を守り、正しく行って下さい。

(不適当な点検整備は、事故につながる恐れがあります。)

■点検、整備等を行った際、損傷部品が見つければ、その部品を再使用する事は避け損傷部品の交換を行ってください。

(そのまま使用すると事故につながる恐れがあります。)

株式会社 スペシャルパーツ 武川

〒584-0069 大阪府富田林市錦織東 3-5-16
TEL:0721-25-1357 FAX:0721-24-5059 URL <http://www.takegawa.co.jp>
お問い合わせ専用ダイヤル:0721-25-8857

- ◎性能アップ、デザイン変更、コストアップ等で製品および価格は予告無く変更されます。予めご了承下さい。
- ◎クレームについては、材料および加工に欠陥があると認められた製品に対してのみ、お買い上げ後1ヶ月以内を限度として、修理又は交換させていただきます。但し、正しい取り付けや、使用方法など守られていない場合は、この限りではありません。修理又は交換等にかかる一切の費用は対象となりません。なお、レース等でご使用の場合はいかなる場合もクレームは一切お受け致しません。
- ◎この取扱説明書は、本製品を破棄されるまで保管下さいますようお願い致します。

ネジについて

- ◇普通、ボルトとナットは反時計方向に回すと緩み、時計方向に回すと締まります。
- ◇ネジを締める場合は最初から工具を使用せず、まずは指で締まるところまで締めましょう。
- ◇ネジを緩めるということは、締まっている状態から3～4回転反時計方向に回すことをいい、取り外すということはネジが取れるまで反時計方向に回すことをいいます。
- ◇ネジを締めるということは、ネジを緩まないように締めることをいいます。その目安をボルトごとに、折れない・緩まない数値で表したのが規定トルクです。
- ◇トルクレンチを用意することが出来ない方は折れない・緩まない力でネジを締めれるのであれば試して下さい。但し、弊社では責任を負いません。
- トルクレンチが無くてもどのぐらいの力で締めると折れるのか、緩むのかは経験と勘でしか補えません。
- ◇工具を正しく使用しない場合、ボルト・ナット等のかかり部分が破損する場合があります。

製品内容



番号	部 品 名	個数	リペア品番
1	ピストン 59.4mm	1	
2	シリンダー 59.4mm	1	
3	ピストンリング SET	1SET	13011-KTK-T30
4	ピストンピン 14x36.3	1	00-01-0114 (サークリップ2ケ付)
5	ピストンピンサークリップ 14x1.0	2	00-01-0052 (6ケ入り)
6	カムシャフト	1	01-08-042
7	シリンダーヘッドガスケット	1	12251-KTK-T51
8	シリンダーガスケット	1	00-01-0075 (2ケ入り)
9	エキゾーストパイプガスケット	1	00-01-0027 (2ケ入り)
10	インレットパイプガスケット	1	00-03-0004 (4ケ入り)
11	オイルプラグボルト	1	00-07-0072 (シーリングワッシャ付)
12	オイルプラグボルト (M5 穴付)	1	00-07-0090 (シーリングワッシャ付)
13	アルミシーリングワッシャ	2	00-07-0010 (10ケ入り)

※リペアパーツは必ずリペア品番にてご注文下さい。

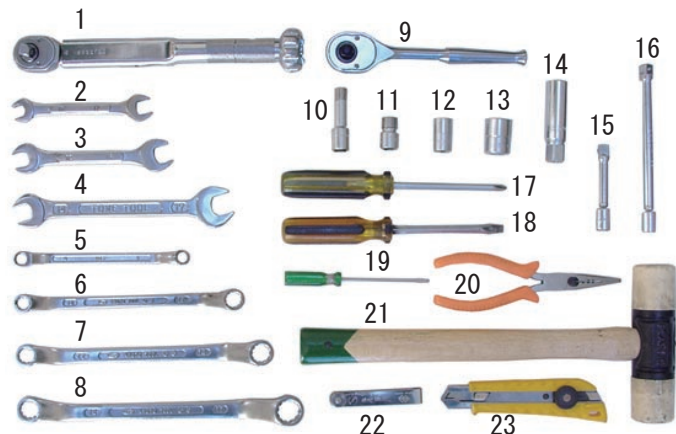
品番発注でない場合、受注出来ない場合もあります。予めご了承下さい。

尚、単品出荷出来ない部品もありますので、その場合はセット品番にてご注文下さいますようお願い致します。

内径 x 行程	総排気量	圧縮比	使用燃料
59.4x45	124.6cc	11.5:1	ハイオクタン価ガソリン (リサーチ法: 97オクタン価以上)

工具について

- ◇正しい工具を正しく使用しない場合はボルトやナットや各パーツのかかり部分やネジ部分が破損する場合があります。
- ◇取り付けの経験が無いほど正しい工具が必要です。また、それらを正しく使用する経験も同様に必要です。準備が不十分な方は、技術的信用のある専門店へご依頼されることをお勧め致します。
- ◇当製品の取り付けに使用する工具等を下記に掲載しますので参考にして下さい。
- なお、車種やその年代により工具の内容が異なる場合がありますのでご了承下さい。
- ※工具は同じ名前のもので数々のメーカーや種類があったり、同じ工具でも名前が違ったりします。また、好みもありますので参考程度でお考え下さい。



1	トルクレンチ	16	エクステンションバー中
2	スパナレンチ 10-12mm	17	ドライバープラス小
3	スパナレンチ 12-14mm	18	ドライバーマイナス小
4	スパナレンチ 14-17mm	19	細軸ドライバーマイナス
5	メガネレンチ 8-9mm	20	ラジオペンチ
6	メガネレンチ 10-12mm	21	プラスチックハンマー
7	メガネレンチ 12-14mm	22	シックネスゲージ
8	メガネレンチ 14-17mm	23	カッターナイフまたはスクレーパー
9	ラチェットレンチ		針金等
10	ディープソケット 8mm		ウエス
11	ソケット 10mm		エンジンオイル
12	ソケット 12mm		レーシングスタンド
13	ソケット 17mm		ジャッキ等
14	プラグソケット 16mm		棒ヤスリ
15	エクステンションバー小		

◇フューエルコックを OFF にします。



◇サイドスタンドを取り外す必要がありますので、レーシングスタンド等を用いて車両を確実に支えて下さい。

※作業は必ず冷間時（エンジンおよびマフラーが冷えている時）に行ってください。

※各パーツはホコリやオイルなどの汚れを取り除いてきれいにしながら取り外していくようにして下さい。

※取り外したボルトやナットは無くさないように、どの場所に使用するのかわかるように保管して下さい。

◇チューブクリップをはずし、フューエルチューブの接続を外します。



●エンジンの取り外し

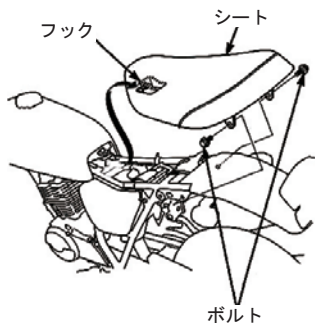
シートとタンクの取り外し

XR100R

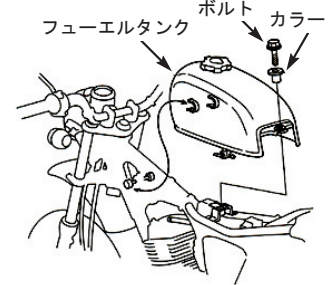
※オーナーズ/サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームから取り外します。

Ape100

◇2本のボルトを取り外します。シートを後方に引いて外します。



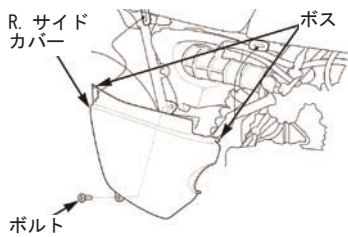
◇ボルトを外し、フューエルタンクを後方に引いて取り外します。



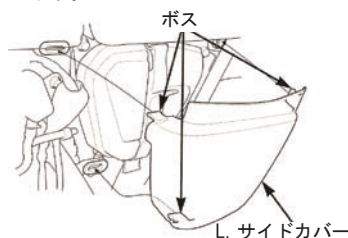
サイドカバーの取り外し

Ape100

◇R. サイドカバーのボルトを取り外します。ボス2ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



◇L. サイドカバーのボス3ヶ所をフレームから外すと、サイドカバーが外れます。



XR100 Motard

◇L/R サイドカバーのフランジボルトを取り外し、L/R サイドカバーを取り外します。



キャブレターの取り外し

◇キャブレターのトップキャップを外し、スロットルバルブをキャブレターから抜き取ります。



◇コネクティングチューブバンドのスクリューを緩めます。



◇ボルト2本を取り外し、シリンダーヘッドからマニホールドとキャブレターを取り外します。



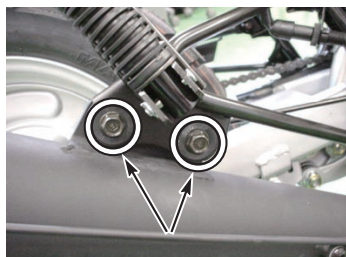
エキゾーストマフラーの取り外し

◇シリンダーヘッド側のナット2個を取り外します。



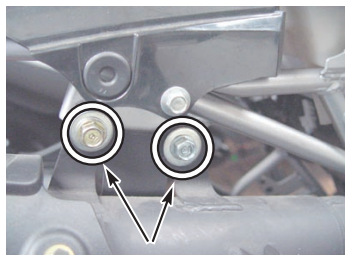
Ape100

◇マウントボルトとワッシャを取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



XR100 Motard

◇フランジボルト2本を取り外し、エキゾーストマフラーを取り外します。



スパークプラグの取り外し

◇プラグキャップを引っ張り、取り外します。必ずキャップ部分を引っ張って外して下さい。



◇スパークプラグを取り外します。

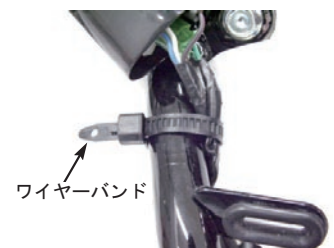


接続を外す

◇配線の接続を外します。



◇ワイヤーバンドを外します。



◇ブリーザーホースの接続を外します。



◇クラッチケーブルガイドのナットを緩め、リフターレバーからクラッチケーブルの接続を外します。



◇ケーブルガイドからクラッチケーブルを外します。

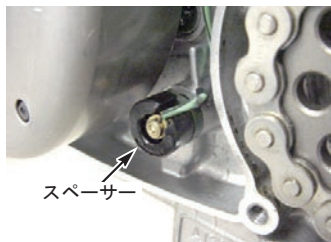


ドライブスプロケットの取り外し

◇L. クランクケースカバーのボルト5本を外し、L. クランクケースカバーを取り外します。



◇ガスケットがきれいに剥れず残った場合は、スクレーパーやカッターナイフ等で取り除いて下さい。
◇スペーサーを取り外しておきます。

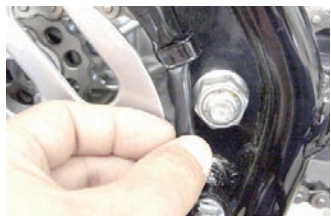


◇ドライブプロケットの2本のボルトを外し、フィクシングプレートとドライブプロケットを取り外します。



L. ステップの取り外し

◇サイドスタンドスイッチコードをフレームから取り外します。



◇ボルト2本を取り外し、L. ステップを取り外します。



エンジンの取り外し

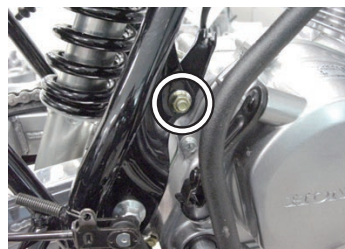
◇エンジン下部にジャッキや適当な台等を置き、エンジンを支えます。



◇フロントエンジンハンガーのナット4個を取り外し、ボルト4本を抜き取ってフロントエンジンハンガーを取り外します。



◇リアエンジンマウントの上側のナットを取り外します。



◇下側のナットを取り外します。



◇まず、上側のボルトを抜き取り、カラーとクラッチケーブリングガイドを取り外します。



◇下側のボルトを抜き取り、エンジンをフレームの左側から取り外します。フレーム等に傷をつけないように注意して下さい。



●シリンダーヘッド、シリンダー、ピストンの取り外し

シリンダーヘッドの取り外し

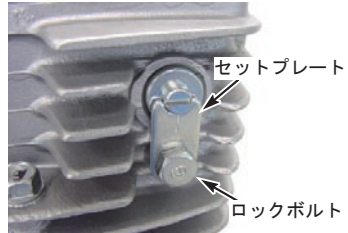
◇シリンダーヘッドカバーボルト2本を外し、シリンダーヘッドカバーとガスケットを取り外します。



◇フライホイールを固定し、カムプロケットの六角ボルト2本を緩めておきます。



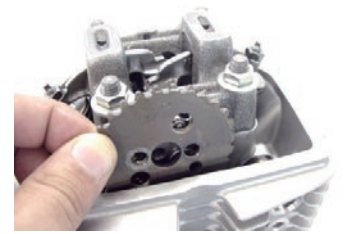
◇ロックボルトとセットプレートを取り外し、アジャスターを取り外します。



◇カムプロケットの六角ボルト2本を取り外します。



◇カムプロケットをカムシャフトから外し、カムチェーンから外します。



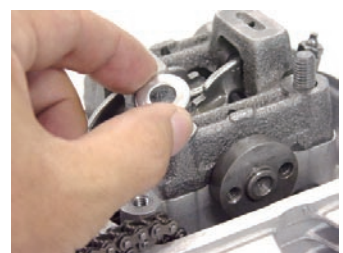
◇カムチェーンをクランクケース内に落とさないように針金等で吊っておきます。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを取り外します。



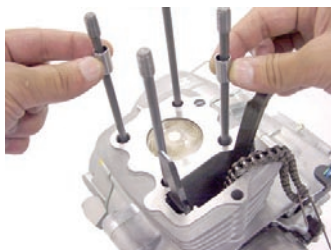
◇カムシャフトホルダーナット4個を対角に数回に分けて緩めてワッシャ4個、カムシャフトホルダー、カムシャフト、ノックピンを取り外します。



◇シリンダーヘッドを取り外します。



◇ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



◇シリンダーヘッドのマニホールド取り付け面のガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。

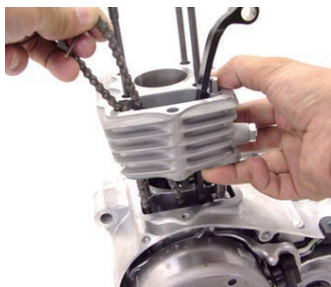


シリンダーの取り外し

◇カムチェーンガイドを取り外し、シリンダーを抜き取ります。(かたい時はプラスチックハンマーでシリンダーを軽くたたき、取り外します。)



カムチェーンガイド



◇ノックピン2個は、再使用するので取り外しておきます。



◇ロックナットとアジャストボルトをシリンダーから取り外します。



◇スプリングを外し、カムチェーンテンショナーをシリンダーから取り外します。



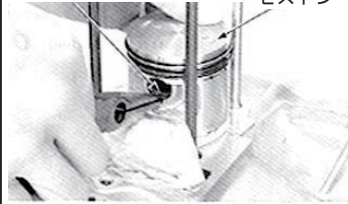
◇クランクケースのシリンダーホールとカムチェーンホールにゴミや部品が入らないようにウエスを詰め込みます。



ピストンの取り外し

◇ピストンピンサークリップの片側を取り外します。
※ピストンピン穴の切り欠き部を利用してこじると外れます。

ピストンピンサークリップ ピストン



◇サークリップを取り外した方へドライバー等でピストンピンを押して外します。



◇ピストンが外れます。

取り付け面をきれいにする

◇ガスケットカスをスクレーパーやカッターナイフ等できれいに取り除きます。取り付け面にキズを付けないように注意して下さい。



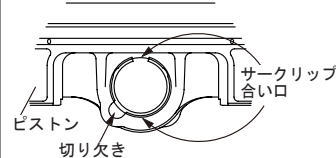
◇ウエスできれいに拭き取ります。



●Sステージキットの取り付け

ピストンの取り付け

◇ピストンピン穴の片側に付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストンに対して上下方向に合わせ、取り付けして下さい。

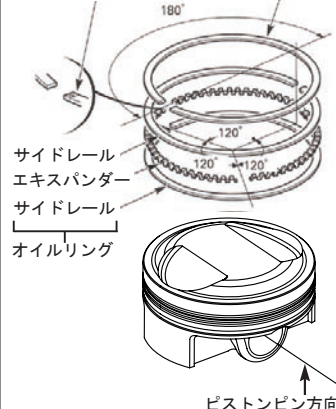


※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取り付けることが出来ます。
※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



◇図を参考にしてピストンリングを取り付けます。

文字を上に向ける



◇オイルリングエキスパンダーを入れます。



◇上 / 下にオイルリングサイドレールを入れます。



◇文字を上にして、トップリングを入れます。



◇ピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



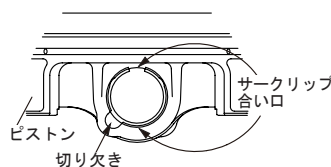
◇コンロッドのピストンピン穴にエンジンオイルを塗布します。



◇ピストンピンにエンジンオイルを塗布し、ピストン頂面に矢印↓がある場合は↓を前方(排気側)に向く様、頂面に“IN”文字がある場合は、“IN”文字を後方(吸気側)に向く様に付けます。



◇付属のピストンピンサークリップを取り付けます。
※ピストンピンサークリップの合い口は切り欠き部を避けて、ピストンに対して上下方向に合わせ、取り付けして下さい。
※ドライバーで、ピストンにキズを付けないように押し込むと比較的簡単に取付けることが出来ます。
※押し込み中にピストンピンサークリップが外れて飛んでしまう恐れがあるので、慎重に取り付けて下さい。



シリンダーの取り付け

◇カムチェーンテンショナーをキットのシリンダーに差し込み、スプリングのフックをシリンダーに引っ掛けます。



◇カムチェーンテンショナーのロッド先端を取り付け面と同じぐらいの位置にします。アジャスターボルトで固定し、ロックナットを締め付けます。



◇詰めていたウエスを取り外します。



◇クランクケースとシリンダーの合せ面をシンナー等で脱脂します。



◇ノックピン2個とシリンダーガスケットをクランクケースに取り付けます。



◇シリンダーの内側にエンジンオイルを塗布し、指で均等に塗り広げます。



◇ピストンの全周面と、ピストンリングにエンジンオイルを塗布します。



◇シリンダーを入れていきます。



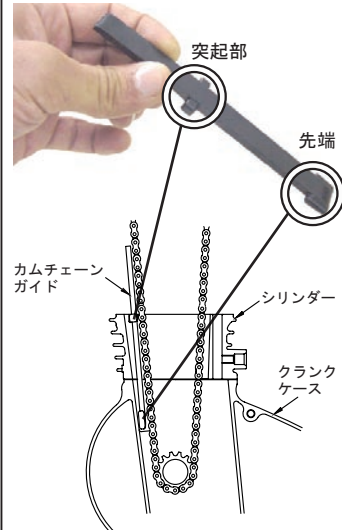
◇シリンダーにピストンリングの合い口がずれないように指で少しずつはめていきます。



◇ピストンがシリンダーにはまったら、カムチェーンをシリンダーに通してシリンダーをクランクケースにはめ込みます。

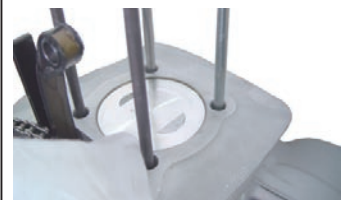


◇カムチェーンガイドの先端をクランクケースの溝に、突起部をシリンダーの溝に合わせようとして差し込みます。



シリンダーヘッドの取り付け

◇シリンダーとシリンダーヘッドの合せ面をシンナー等で脱脂します。



◇ノックピン2個とシリンダーヘッドガスケットをシリンダーに取り付けます。



◇カムチェーンをシリンダーヘッドに通し、シリンダーヘッドを取り付けます。



◇アジャスターをカムチェーンテンショナーとシリンダーヘッドに通して取り付けます。



◇ロックボルトでセットプレートを抑止めます。



◇シリンダーヘッドマウントボルトを仮止めしておきます。



カムシャフトとカムスプロケットの取り付け

◇カムシャフトとカムシャフトホルダーの確認作業を行います。
(キット内のカムシャフトは、ノーマルカムシャフトに比べリフトを増やしています。
そのため、カムシャフトホルダーの寸法誤差により、カムシャフトと干渉する場合があります。必ず確認作業を行って下さい。)

◇カムシャフトホルダーに、キット内のカムシャフトを合わせ、カムシャフトのカム山と、カムシャフトホルダーが干渉していないか確認します。



◇干渉が無い場合は、そのまま取り付け作業を行います。
干渉がある場合は、カムシャフトホルダーの干渉部分を削り、修正します。

⚠注意：必要外の部分は削ら無い事。
⚠注意：カムシャフトホルダージャーナル部、ロッカーアーム取り付け部、シリンダーヘッド取り付け面にキズ等を付け無い様、十分注意して作業を行う事。



◇削り修正後、バリやカエリが無いことを確認し、洗浄します。

◇キットのカムシャフトのジャーナル面とカム面にエンジンオイルを塗布し、シリンダーヘッドに取り付けます。
カムシャフトのカム山は下側にしておきます。



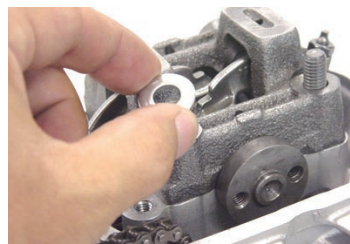
◇ノックピン2個を取り付けます。



◇カムシャフトホルダーを取り付けます。



◇ワッシャ4個を取り付けます。



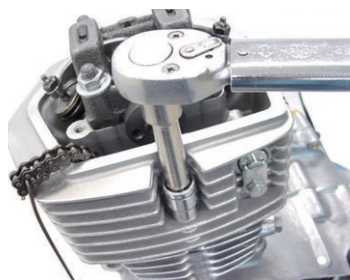
◇ナット4個を対角に数回に分けて均等に締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：20N・m (2.0kgf・m)

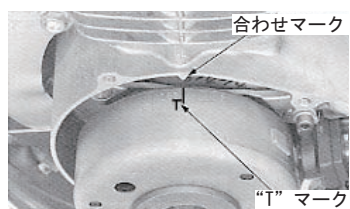


◇仮止めしていたシリンダーヘッドマウントボルトを本締めします。

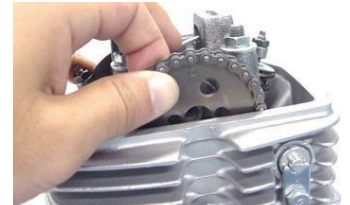
⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドマウントボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



◇フライホイールの“T”マークがクランクケースの“マ”マークに合っているか確認します。

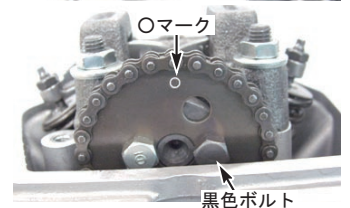
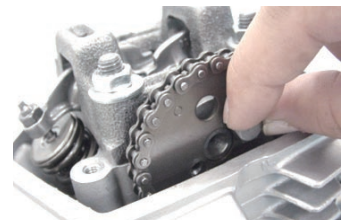


◇カムスプロケットの“O”マークが真上を向くようにカムチェーンを取り付けます。カムスプロケットをカムシャフトにはめ込みます。



◇フライホイールを少し回して、カムスプロケットを回し、6角ボルトを取り付けやすくします。

◇カムシャフトのボルト穴をカムスプロケットに合わせて6角ボルト2本を手で締め込み、仮止めします。
この時、ノックボルト(黒色ボルト)をインテーク側に取り付けして下さい。



◇フライホイールを固定し、カムスプロケットの6角ボルト2本を締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
6角ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

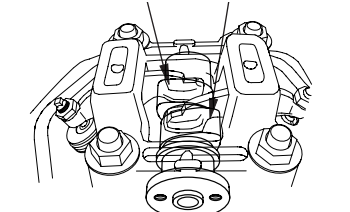


カムチェーンの調整

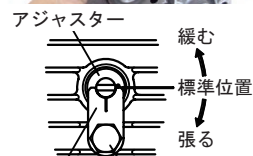
※カムチェーンは張りすぎてもたるみがあってもエンジンの調子を損ないます。確実に作業を行って下さい。

◇フライホイールを反時計方向にまわし、カムシャフトの両方のカム山が上になる位置にします。

カム山を上 に します。



◇フライホイールを手で少し動かし、カムスプロケットとのガタをみながら、アジャスターの“O”マークを張る方向や緩む方向に回してみます。



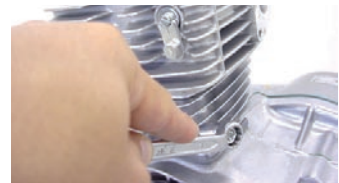
セットプレート — ロックボルト

◇ガタが無く、フライホイールが重くならないところでロックボルトを締め込み、アジャスターを固定します。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇アジャスターの調整だけではガタが無くならない場合、シリンダーのアジャストボルトでも調整を行います。
◇アジャスターをガタが一番少ない位置で固定し、シリンダーのロックナットを緩め、アジャストボルトを少しだけ緩めます。



◇マイナスドライバーでアジャストボルトを固定し、ロックナットを締め付けます。

⚠注意：必ず規定トルクを守る事。
ロックナット
トルク：12N・m (1.2kgf・m)

◇再びアジャスターを回して、ガタが無く、フライホイールが重くならないところを探し、ロックボルトでアジャスターを固定します。

バルブ隙間の調整

◇フライホイールを反時計方向に回して、カムスプロケットの“O”マークが真上を向き、フライホイールの“T”マークがクランクケースの“マ”マークに合う位置で止めます。

◇アジャストスクリューとバルブ端面の間(バルブ隙間)に0.05mmのシクネスゲージを差し込みます。



◇引き抜くときに少し抵抗があるぐらいにアジャストスクリューを合わせ、ナットを締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット
トルク：10N・m (1.0kgf・m)



◇ナットを締め付け後、0.05mmのシクネスゲージを再度差し込み、バルブ隙間を確認します。

◇シリンダーヘッドのオイル溜りにきれいなエンジンオイルをいっぱいまで入れます。



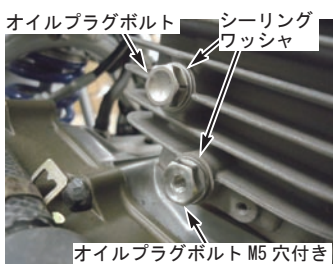
◇シリンダーヘッドカバーとガスケットをシリンダーヘッドカバーボルト2本でシリンダーヘッドに取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
シリンダーヘッドカバーボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



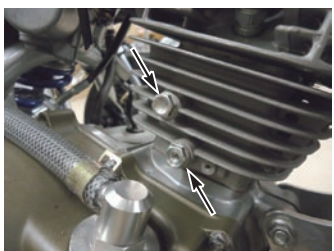
◇付属のシリンダーのボス部2箇所に、オイルプラグボルト / シーリングワッシャを取り付けます。オイルプラグボルト M5 穴付きは、エンジン取り付け時に下側になるよう取り付けます。

※オイルクーラーキットを取り付ける場合は、そのキットの取扱説明書に従う事。



◇オイルプラグボルトを規定トルクまで締め付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
オイルプラグボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



●エンジンの取り付け エンジンの取り付け

XR100R

※オーナーズ/サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームに取り付けます。

◇エンジン下部にジャッキや適当な台等を置きエンジンを支え、車体の左側からエンジンを取り付けます。

◇リアエンジンマウントの下側にボルトを左側から差し込みます。



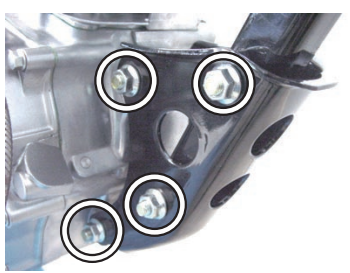
◇カラーとクラッチケーブルガイドを取り付け、リアエンジンマウントの上側にボルトを左側から差し込みます。



◇ナット2個を仮止めします。



◇フロントエンジンハンガーを取り付け、ボルト4本を左側から差し込み、ナット4個を仮止めします。



◇ドライブチェーンを取り付けたドライブスプロケットを、カウンターシャフトに差し込みます。差し込みにくい場合は、エンジンを軽く揺すりながら差し込んで下さい。



◇ドライブチェーンに適度なたるみを持たせたまま、仮止めしたリアエンジンマウントのナット2個と、フロントエンジンハンガープレートのナット4個を本締めします。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
リアエンジンマウントナット
トルク：44N・m (4.5kgf・m)

フロントエンジンハンガープレートナット
トルク：26.5N・m (2.7kgf・m)

◇フィクシングプレートをカウンターシャフトに差し、ドライブスプロケットのボルト穴に合わせて、ボルト2本を取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：10N・m (1.0kgf・m)

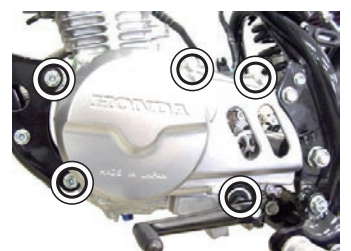
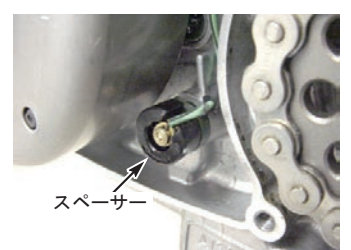


●L. クランクケースカバーの取り付け

◇L. クランクケースカバーとクランクケースの取り付け面をシンナー等で脱脂します。

◇スペーサーを取り付け、L. クランクケースカバーと新品のガスケットをボルト5本でクランクケースに取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：12N・m (1.2kgf・m)



L. ステップの取り付け Ape100

◇L. ステップをボルト2本でフレームに取り付けます。

⚠ 注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26.5N・m (2.7kgf・m)



◇サイドスタンドスイッチコードをフレームのクランプに取り付けます。

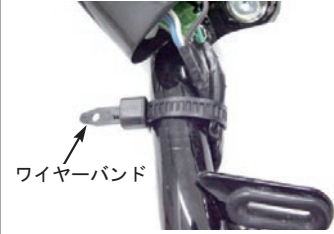


接続

◇配線の接続を行います。



◇ワイヤーバンドでコードをフレームに固定します。



◇ブリーザーホースを接続します。



◇リフターレバーにクラッチケーブルを取り付け、クラッチケーブルガイドに取り付けてナットを締め付けます。



エキゾーストマフラーの取り付け XR100R

※オーナーズ/サービスマニュアルの指示に従いエンジンをフレームに取り付けます。

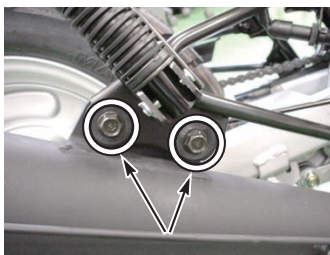
XR100 Motard

- ◇エキゾーストマフラーを車両に取り付けます。
- ◇シリンダーヘッド側のナット2個を仮止めします。



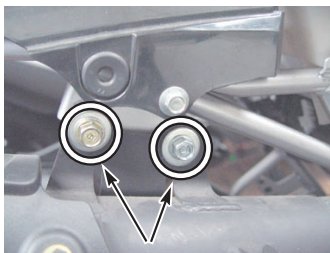
Ape100

- ◇マウントボルトとワッシャを仮止めします。



- ◇フランジボルト2本を仮止めします。

XR100 Motard



- ◇仮止めした2ヶ所を本締めします。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ナット2個
トルク：12N・m (1.2kgf・m)
マウントボルト
トルク：20N・m (2.0kgf・m)

キャブレターの取り付け

Ape100/XR100 Motard

※当製品はノーマルキャブレターでは性能を発揮しません。
別売りのキャブレターキットをお買い求め下さい。
※取り付けは、キャブレターキットの説明書を参照して下さい。

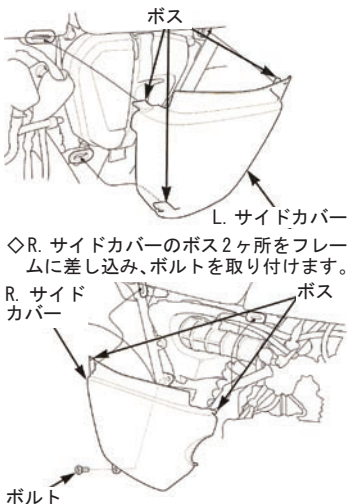
XR100R

※オーナーズ/サービスマニュアルの指示に従いキャブレターを取り付けます。

●サイドカバーの取り付け

Ape100

(STD エアクリーナー BOX 使用時)
◇L. サイドカバーのボス3ヶ所をフレームに差し込み、取り付けます。

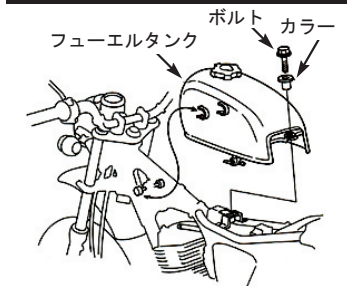


シートとタンクの取り付け

Ape100

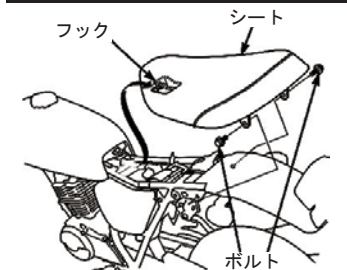
- ◇フューエルタンクをフレームに取り付け、ボルトを締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26.5N・m (2.7kgf・m)



- ◇シート裏面前部のフックをフレームに差し込み、2本のボルトでフレームに取り付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
ボルト
トルク：26.5N・m (2.7kgf・m)



XR100 Motard

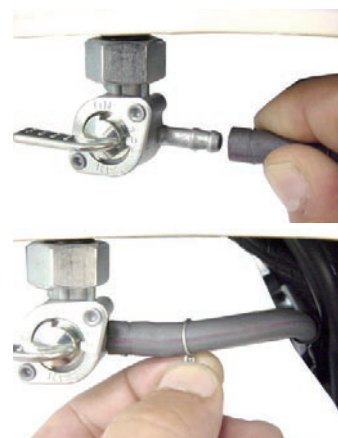
- ◇L/R サイドカバーを取り付け、フランジボルトを取り付け規定トルクまで締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
フランジボルト
トルク：8N・m (0.8kgf・m)



●フューエルホースの接続

- ◇フューエルコックにフューエルチューブを接続し、チューブクリップで固定します。



☆エンジン始動☆

- イグニッションキー、ガスコックがOFFになっているのを確認し、スパークプラグを取り外します。
- しばらくキックをし、エンジン各部にエンジンオイルを十分に行きわたらせます。
- スパークプラグを、まず手で締め込みます。
- プラグレンチを用いて締め付けます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
スパークプラグ
トルク：14N・m (1.4kgf・m)



- プラグキャップを取り付けます。



- ガソリンコック、イグニッションキーをONにし、エンジンを始動させます。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。
▲警告：必ず換気のよい場所で行う事。

- 異音など異常が無いか確認します。
- 異常が無ければ100km～150km位までは慣らし運転を行います。
- 慣らし運転終了後、異音やブローパイなど異常が無いかを確認します。(異常がある場合は、再度エンジンを分解し、各部を点検する。)

▲注意：エンジン組み付け時、規定トルクで締め付けられているボルトやナットもエンジンが温まり熱膨張を繰り返すと少しずつ緩んでくる場合がありますので、定期的に各ボルト、ナット類を増し締めして下さい。

▲注意：必ず規定トルクを守る事。

●走行前の注意

①使用燃料について

燃料タンクにレギュラーガソリンが残っている場合は、必ずハイオクタン価ガソリンと入れ替えて下さい。

②スプロケット

スプロケットは、用途に合わせて調整して下さい。ただし、あまりローギアすぎる設定は、各部の摩耗が激しくなり、エンジン寿命に悪影響を及ぼすだけでなく最悪の場合はエンジン破損してしまう恐れがあります。適切な設定でご使用下さい。

●その他

①オイルクーラー

当製品を取り付けると出力アップに伴い、エンジン発熱量も増大します。エンジンに長時間の負荷を与える走行には、オイルクーラーキットの装着をお勧めします。

②カムチェーン

出力アップ、エンジン発熱量の増大に伴い、弊社製強化カムチェーン、ダイハートαの使用をお勧めします。